

コートジボワール国月報(2016年1月)

主な出来事

【内政】

●12日、第2次ダンカン内閣が成立し、37名の閣僚と、6名の大統領府付閣僚が任命された。9名が新任。女性閣僚は9名。

【外政】

●8日、ウワタラ大統領は、ベナンのコトヌで開催された第19回西アフリカ経済通貨同盟(UEMOA)首脳会議において、同首脳会議議長に選出された。

●15日、ブルキナファソ司法当局は、クーデター及びクーデター支援を検討する内容の通話傍受に関する捜査の関連で、ソロ国民議会議長に対する国際逮捕状を発出した。

【経済】

●6日、KOICAは産科瘵孔対策に38億CFAフラン援助に署名。

●7日、アビジャン自治港は2015年の取引量は22百万トンと発表。

●7日、コートジボワール投資促進センター(CEPICI)は、2015年に設立された会社数が9千社以上、投資は6700億CFAフラン以上と発表。

●13日、財務省はイスラム債券による調達額が1500億CFAフランに上ることを発表。

●18日、ココディ湾改良工事の第一フェーズ開始。

【対日関係】

●29日、ウワタラ大統領は、アジス・アベバで、河井総理補佐官と会談し、ケニアで開催されるTI CADVIについて議論した。

【内政】

・6日、昨年12月23日の閣議での大統領による内閣改造の意向表明を受け、6日、ダンカン首相は自らと同内閣の辞表を提出し、ウワタラ大統領はこれを承認した。(アビジャン発AFP)

・同6日午後、ウワタラ大統領は、ダンカン前首相を首相に再任し、早急に新内閣の閣僚案を提案するよう指示した。再任の理由は、経済問題の知見の豊富さ、これまで内閣を率いた実績、ウワタラ大統領と長年仕事をしてきた経験、政治から距離を置いていることなどが挙げられる。(フラテルニテ・マタン紙)

・11日、東部ダウクロにおいて、ウワタラ大統領はベディエPDCI党首と共に、3月～4月までの、与党RDRとPDCIの統一政党の創設を発表した。(フラテルニテ・マタン紙)

・11日、国民議会本会議で、2016—2020年軍事計画、2016—2020年国内治安部隊計画法案が採択された。これらの法により、今後5年間にわたる国防及び国内治安への予算財源及び人的資源について決定することができる。(フラテルニテ・マタン紙)

・12日、第2次ダンカン内閣が成立し、37名の閣僚と、6名の大統領府付閣僚が任命された。9名が新任。女性閣僚は9名。(フラテルニテ・マタン紙)

・20日、国連安保理は、NYで、UNOCI要員を5,437名から明年3月31日までに4,000名まで削減することを決めた。(フラテルニテ・マタン紙)

・21日、ウワタラ大統領はアフィ野党FPI党首と3時間に渡り会談し、危機の後に逮捕された未決拘留者の釈放問題、亡命者の帰還、政党に対する補助金、選挙区割りの是正等につき議論した。(フラテルニテ・マタン紙)

・28日、ハーグの国際刑事裁判所(ICC)においてバグボ前大統領及びブレ・グデ元愛国青年連合代表の公判が開始された。2010年大統領選挙後の危機において、人道に対する罪を犯した容疑。(フラテルニテ・マタン紙)

【外政】

・8日、ウワタラ大統領は、ベナンのコトヌで開催された第19回西アフリカ経済通貨同盟(UEMOA)首脳会議において、同首脳会議議長に全会一致で選出された。(フラテルニテ・マタン紙)

・15日、ブルキナファソ司法当局は、クーデター及びクーデター支援を検討する内容の通話傍受に関する捜査の関連で、ソロ国民議会議長に対する国際逮捕状を発出した。(ワガドゥグ発AFP)

・18日、コートジボワール大統領府は、ブルキナファソ当局が発出したソロ議長への国際逮捕状に関し、第二の権力の長に対して国際逮捕状が発出されたことへの驚きを表明しつつ、外交ルートを通じて本件を解決する意向を示した。(ノール・スッド・コティディアン紙)

・18日、ウワタラ大統領は、サーリーフ・リベリア大統領と西部ギグロにおいて、第2回コートジボワール・リベリア伝統的首長共同委員会を開催した。ウワタラ大統領は、同委員会によって、共通の歴史と文化を持つ両国は、二国間の友愛を称え、持続可能な平和と安定を保つために協力関係を強化できると述べた。(フラテルニテ・マタン紙)

・19日、ウワタラ大統領は、アビジャンを訪問したヤイ・ボニ・ベナン大統領と同席者を交えず会談した。会談後、ヤイ・ボニ大統領は、テロ攻撃を受けたブルキナファソを訪問後、コートジボワールを訪問したとし、二国間及び域内の関心事項につき協議したと述べた。(ル・ヌーヴォー・レヴェイユ紙)

・27日、ウワタラ大統領は、アマドゥ・サリフ・ニジェール国民議会議長と会談した。アマドゥ・サリフ議長は、会談後、イスフ・ニジェール大統領の友愛のメッセージをウワタラ大統領に伝えたと述べた。(フラテルニテ・マタン紙)

・29日、ウワタラ大統領は、アジス・アベバで開催された第26回AU総会のマージンでカボレ・ブルキナファソ大統領、ル・ガルアフリカ担当仏大統領補佐官、サーリーフ・リベリア大統領とそれぞれ会談した。(フラテルニテ・マタン紙)

【経済】

・6日、韓国国際協力事業団(KOICA)と国連人口活動基金(UNFPA)の代表は産科瘵孔(ろうこう)の予防と対策のための案件第2フェーズへの38億CFAフラン(約7.6億円)の支援について署名を行った。第2フェーズでは、予防と外科治療を通して、将来的にこの病気に苦しむ女性がいなくなるよう保健サービス能力を強化する。(フラテルニテ・マタン紙)

・7日、アビジャン自治港の局長により発表された2015年度の暫定決算によると、取引量は2014年より2百万トン増加、予測売上高は790億CFAフラン(約158億円)、利益は100億CFAフラン(約20億円)、全体で3%の成長を記録した。(フラテルニテ・マタン紙、ランテール紙、ル・ヌーヴォー・レヴェイユ紙)

・7日、コートジボワール投資促進センター(CEPICI)は、2015年には前年の45%増に相当する9,534社の会社が設立されたと発表した。投資は前年より57%増加し、186社に対して6,700億CFAフラン(約1,340億円)の投資が承認された。エシCEPICI事務局長は、景気回復を背景に、コートジボワールへの投資家の信頼回復が進んでいると述べた。モロッコ(22%)、フランス(16%)、ブルキナファソ(11%)、トルコ(5%)、レバノン(4%)等から、主に公共建設事業、食品業、ICTの分野に投資が行われた。(ランテール紙、パトリオット紙)

・13日、財務省の発表によると、コートジボワールはスクーク(アラブ・イスラム金融市場の債券)発行により昨年11月から1,500億CFAフラン(約300億円)を得た。その地理的内訳は西アフリカ諸国経済共同体(UEMOA)以外から670億CFAフラン(約134億円)(45%)、コートジボワールから550億CFAフラン(約110億円)(37%)、UEMOAのその他の国から26億CFAフラン(約5.2億円)(17%)。イスラム金融ニュース紙はこの成功を「スクークの今年の最高の取引」と形容。(フラテルニテ・マタン紙、ランテール紙)

・14日、2015年の税収入は政府目標1兆6,720億CFAフラン(約3,344億円)に対して、1兆6,583億CFAフラン(約3,316.6億円)であり、達成率99.2%となったことが発表された。2016年の目標は1兆8,960億CFAフラン(約3,792億円)である。(フラテルニテ・マタン紙、ラン

テール紙、ノートル・ヴォワ紙)

・18日、ダンカン首相はアビジャンにて、ココディ湾の保全・活用工事の第一フェーズ着工式に出席した。今回の工事は、コートジボワールとモロッコが110億CFAフラン(約22億円)を出資し、コートジボワールのENSBTP-SGTMグループ及びモロッコ国営企業のMarchina Medにより、湖底の浚せつや人口水路の整備、湾岸の埋め立て、土手の整備、マリーナの基盤の整備等が行われる。(フラテルニテ・マタン紙、ランテール紙、ノール・スッド・コティディアン紙、ル・ヌーヴォー・レヴェイユ紙)

・25日、ダンカン首相は北西部のベレバンとオディエネを結ぶ71.5kmの道路舗装工事の着工式に出席した。工事費用400億CFAフラン(約80億円)は中国輸出入銀行とコートジボワールが出資し、24ヶ月間で施工される。首相によると、2016年上半期にはイスラム開発銀行によりオディエネと北部ブンディアリを結ぶ道路の工事も始まる。同日、オディエネの職業高等学校の改修・拡張工事も開始された。同校は2002年9月の軍事政治危機以降アビジャンへ移転していたが、今回の工事により同地に戻るもので、工事費用52.5億CFAフラン(約30.5億円)のうち40億CFAフラン(約8億円)をイスラム開発銀行、12.5億CFAフラン(約2.5億円)をコートジボワールが出資する。(フラテルニテ・マタン紙、ランテール紙)

・25日、ウワタラ大統領はモロッコ・テレコム社長と面会した。同社社長は電気通信事業の営業許可取得料の一部として、500億CFAフラン(約100億円)を投資したと述べた。これにより、2G、3G、4G、及び光ファイバーといった分野への今後の投資の可能性が開ける。(フラテルニテ・マタン紙)

・26日、ダンカン首相は、公衆衛生のための新薬局(Nouvelle PSP)の医薬品貯蔵能力を増加させるための倉庫の除幕式に出席した。倉庫建設費用39億CFAフラン(約7.8億円)は米国国際開発庁(USAID)及び世界エイズ・結核・マラリア対策基金から支援を受けた。EU大使は自動車、IT機器、トラック、荷役用機器等の機材を引き渡した。(フラテルニテ・マタン紙、ランテール紙、ル・ヌーヴォー・レヴェイユ紙)

【対日関係】

・29日、ウワタラ大統領は、アジス・アベバで、河井総理補佐官と会談し、ケニアで開催されるTIC ADVIについて議論した。同補佐官はウワタラ大統領に安倍総理からの招待のメッセージを伝え、大統領は出席に同意した。(フラテルニテ・マタン紙)